

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年第1回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 2月6日(金)・9日(月)・10日(火) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

2月6日(金)

氏名	発言の表題
露口哲治	1 高齢者施策について問う (1) 老人健康保健施設・特別養護老人ホームなどでは、施設の介護士、看護師、ヘルパーなどの不足はないのか (2) 小金井市ができることは。多摩26市平均並みの財政支援はできているのか
	2 自転車の交通安全の施策を問う (1) 自転車利用の交通安全、ルール・マナーについての教育は十分か (2) 14小中学校での交通安全教室の実施内容の充実を
	3 市の管理する駐車場について問う (1) 小金井市の施設の駐車場は市民に満足のいく状況か (2) 第二庁舎2階駐車場を、状況に応じて解放できないものか (3) 第二庁舎駐車場の夜間利用も積極的に行うべき (4) 公民館など夜間施設利用者(高齢者)への割引利用を考えよ
鈴木洋子	1 定額給付金の活用について (1) 給付の準備体制はできているか (2) プレミア商品券を連動させて地域振興に役立てないか (3) 寄付制度の検討を (4) 雇用の推進のために国の事務費などを活用できないか
	2 子育て支援について (1) 国の子育て応援特別手当(仮称)の支給が決まれば対応はどうか (2) 出産育児一時金の拡充の対応はどうか (3) 妊婦検診14回分の拡充の実施はどうか
	3 教育のあり方の一考として (1) 親孝行教育の推進 (2) 子ども読書の更なる薦め
青木ひかる	1 再びがん対策を問う (1) 5年後を年次目標とするがん検診受診率向上の年次計画の検討は (2) 小中学校での「いのちの授業」について (3) 「東京都がん患者療養支援モデル事業」のピアカウンセリングの広報は
	2 リース庁舎の共益費の引き下げを (1) リース庁舎の共益費に関する交渉状況について
野見山修吉	1 派遣切り、雇用の悪化への対応を (1) 市民生活への影響(市民の中の派遣切りや採用中止、賃下げなど)を調査し、相談窓口や現状の支援施策情報発信など対応策のためのプロジェクトの実施を (2) ハローワーク、労政事務所、労働NPOなどとの打ち合わせ会を (3) たとえ定額給付金の趣旨ではないと言われても、市もしくは社会福祉協議会が協議の上了承されるならば、定額給付金の寄付を受け入れ、生活困難者支援の施策に使用する市民生活支援基金をつくってはどうか

	<p>2 新たに市民になる人へ</p> <p>(1) 新住民のために毎月公民館でオリエンテーション、ガイダンスを行わないか</p> <p>3 大不況、市税収入の落ち込み、職員退職者の増加、扶助費の増大など、この2、3年の財政運営をどうするのか</p> <p>(1) 第4次基本構想開始までの期間の具体的な財政運営の見通しは</p>
宮崎晴光	<p>1 東小金井駅南口都市計画について再び問う</p> <p>(1) 東小金井駅南口の交通動線についての今後の予定を考えるべき時では</p> <p>(2) 「くりやま通り」の都市計画決定の見直しを行わないか</p> <p>(3) まちのにぎわい振興についての行政の責務をどう考えるか</p>
宮下誠	<p>1 成年後見制度の充実について</p> <p>(1) 制度が求められる社会的背景、地域の実情は（日常生活支援事業の利用状況など）</p> <p>(2) 制度の普及・啓発活動を積極的に進めないか</p> <p>(3) 担い手の拡充を図らないか</p> <p>(4) 後見報酬の助成について、他市の事例は</p> <p>(5) 法人後見の必要性について、調査しないか</p> <p>(6) 医療同意や身元引受人の問題について、その対応策を考えないか</p> <p>(7) 市役所において、制度のリーダーシップを担う課を明確にしないか</p> <p>2 放課後子どもプランの推進について</p> <p>(1) 国の進める同事業と小金井市独自の取組について、その趣旨を明確に周知しないか</p> <p>(2) スタッフの役割など、同制度について明確に説明していかないか。キーマンはだれか。また、企画立案は誰がおこなうものなのか</p> <p>(3) 市内各小学校における取組状況は</p> <p>(4) 講座の充実や都への働きかけを進めないか</p>

2月9日（月）

齋藤康夫	<p>1 住民投票条例を制定すべきである</p> <p>(1) 直接請求による、「庁舎建設場所選定住民投票条例」にはわずか1ヶ月で1万人以上の署名が集まった。この署名者、署名数に対する見解を求める</p> <p>(2) 住民投票に対する市長見解を求める</p> <p>(3) 一定数以上の署名により市長・議会の意思とは別に住民投票をし、その結果に拘束力をもつ住民投票条例を制定すべきである</p> <p>2 新ごみ処理施設建設は小金井市域内に非焼却で建設すべきである</p> <p>(1) 調布・府中との協議状況の報告を求める</p> <p>(2) 新処理施設問題の市民検討委員会、専門家による処理方式選定委員会の概要は決定したか</p> <p>(3) 国分寺市との連携はどのように行なうのか</p> <p>(4) 小金井市域内に非焼却で建設すべきである</p>
遠藤百合子	<p>1 新型インフルエンザ対策のすすめ</p> <p>(1) WHOが「最大脅威」と位置づけた「H5N1」の知識の共有を図るには</p> <p>(2) その対策として国や都・保健所・消防署・医療関係者等と連携し最善の方法が選択できるよう準備をはじめないか</p> <p>2 貫井南町4丁目の貫井けやき広場について、その存続を望む声にどう応えていくか</p>

<p>関根優司</p>	<p>1 本町住宅・貫井南住宅の建てかえについて</p> <p>(1) 都市計画決定の問題点</p> <p>(2) 公社の計画上の問題点</p> <p>(3) 高齢者住宅を併設し、現居住者を優先入居させよ</p> <p>(4) 公園を確保せよ</p> <p>2 武蔵小金井駅北口のまちづくりは、はじめから権利者と市民の合意を大切に</p> <p>(1) 「計画（案）」作成経過の非民主性</p> <p>(2) 内容のいくつかの重大な問題点</p> <p>(3) 権利者・市民の声をはじめから第一に大切にすまちづくりを進めよ</p> <p>3 幼稚園児保護者補助金の増額を</p> <p>(1) 保護者補助金の増額を</p> <p>(2) 入園支度金を創設せよ</p>
<p>板倉真也</p>	<p>1 中学3年生までの医療費無料化の実施を</p> <p>(1) 東京都が来年度実施する義務教育就学児の医療費助成策の概要について</p> <p>(2) 一般会計における市負担額は現行と比べてどれくらいの削減になるのか</p> <p>(3) 東京都が来年度実施する義務教育就学児の医療費助成策のもとで、小金井市が現在実施している就学前までの医療費無料化を段階的に引き上げていくためには、一学年ごとにどれくらいの市負担になると考えられるか。および中学3年生まで実施した場合の市負担額見込みは</p> <p>(4) 都内23区と同様に、中学3年生までの医療費完全無料化へ踏み出すべき</p> <p>2 商店街が真にいきづく地域商業振興策の確立を</p> <p>(1) イトーヨーカドーの出店を迎えるなかでの地域商店街育成の方針・施策を問う</p> <p>(2) 高齢化社会を迎えるなかでの地域商店街育成の方針・施策を問う</p> <p>(3) 商工会や非営利団体と連携して、商店が消滅した地域への店舗開設を。あるいは、食料品等の移動販売車の運行を</p> <p>(4) 商店街活性化に向けて、商工会と連携して、市内商店街共通のプレミアム付商品券の発行を</p>
<p>水上洋志</p>	<p>1 高齢者の入院見舞金の実現を求める</p> <p>(1) 高齢者への増税・負担増の影響をどう考えるか</p> <p>(2) 高齢者への入院見舞金の支給を実施しないか</p> <p>2 武蔵小金井駅北口の駐輪場整備を求める</p> <p>(1) 武蔵小金井駅北口の整備の中で駐輪場整備を求める</p> <p>(2) 高齢者・障害者用の駐輪場の実現を</p> <p>3 東大通り、東町踏切、北部分の拡幅・整備について</p>
<p>紀由紀子</p>	<p>1 親支援プログラムの拡充について</p> <p>(1) 小金井市の現状はどうか</p> <p>(2) 児童虐待防止策について</p> <p>(3) 親支援プログラム「ノーバディズ・パーフェクト」を拡充しないか</p> <p>2 はげの森美術館のさらなる文化振興について</p> <p>(1) 現状と課題は何か</p> <p>(2) 議会の中での提言をどこまですすめているか</p> <p>(3) ミニ・コンサート等を行なわないか</p>

2月10日(火)

漢人明子	<p>1 実効性のある地球温暖化対策地域推進計画の策定を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 計画の概要と策定スケジュール(2) 率先実行すべき市役所としての取り組み <p>2 官製ワーキングプアの改善を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 市役所非正規雇用の改善(2) 民間委託や発注によるワーキングプア増加を防ぐための入札改革と公契約条例の策定を
森戸洋子	<p>1 国民健康保険税の引き下げを</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 国民健康保険加入者の生活実態をどのようにとらえているのか(2) 国民健康保険税の負担の軽減を考えないか <p>2 ひとりぐらし高齢者の家賃助成を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ひとりぐらしの高齢者のアパート・借家住まいの実態は(2) 収入が激減したひとりぐらし高齢者に対し、家賃助成を実施しないか <p>3 障害者福祉の充実について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 障害者権利条約にもとづく、総合的な障害者福祉法の制定を(2) 障害者福祉計画の充実と負担の軽減について(3) 事業所の支払い方式の改善を国に要望するとともに、独自の支援策を(4) 障害者程度区分について、実態と改善について(5) 軽度の発達障害者への支援について
和田茂雄	<p>1 「こがねいエコタウン」の構築を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) エコタウン構築の主流は、自然エネルギーの採用と省エネ機器の導入である。住宅向けについては、国、東京都と連動して普及を図り、公共施設については、「小金井市地球温暖化対策実行計画」に沿って実施に踏み切るべきである(2) 資源循環の仕組みづくりでは、生ごみ肥料化による都市農業への支援や廃食用油のバイオ燃料化によるディーゼル車への利用を促進すること(3) ヒートアイランド対策では、小中学校や保育園、幼稚園の校庭、園庭の芝生化、屋上・壁面の緑化を推進すること
渡辺大三	<p>1 「駅前ハコモノ建設」より、まずは「安定的ごみ処理」を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 用地確定作業の現状は(2) あと1か月足らずで、国分寺市への建設場所提示期限となるが、提示できるのか(3) 2月末に市民説明会を開催し、状況を報告すべきではないか(4) 4月1日以降のごみ処理は安定的に行われるのか。不測の事態に備えて今から準備をしておく必要があるのではないか(5) 駅前ロータリーの真正面に66億円でホールを建設する計画や、その隣に92億円で市役所を建設する計画は「撤回」し、ごみ処理を確実にを行うための財源を十分に確保すべきではないか(6) 市役所やホールの建設は、市民参加で立地を再検討し、財政フレーム(財政計画)を明示した上で建設に着手すべきではないか(7) 市役所の場所を定める3分の2以上の特別多数議決を得る方法は住民投票以外にはないのではないか <p>2 人件費問題の解決を急ぎ、市民サービスの向上を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 多摩26市で最高額となっている職員住居手当は引き下げを(2) 国基準を上回る率で支給している職員地域手当は引き下げを(3) 市職員OBを優先雇用し、ボーナスや地域手当まで支給する再任用制度は運用を中止し、市民雇用枠の拡大を(4) なぜ市長は、中学校5校は学校給食調理業務を民間委託したのに、小学校9校の民間委託化は進めないのか。労使で決めごとでもあるのか(5) 職員の抵抗で実現しない「図書館の開館時間の延長」「学童保育の時間枠延長」の実現は、市民サービス向上の観点からすみやかな実施を

	3 駅前大規模店舗の出店に関して (1) 税収増の一部を、影響を受ける既存商店街への支援策に充てるべきでは
小山美香	1 環境を次世代につなぐ施策の展開を (1) さらなるごみの減量、ごみにしないための施策をすすめよ (2) 景観行政団体に名乗りを (3) 地下水を大切にすまちに